

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	文化観光国際部文化振興課
施策名	(2) 文化・スポーツによる地域活性化	課(室)長名	村田 利博
事業群名	文化・芸術による地域づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)							(取組項目)			
子どもから大人まで、県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供に取り組むとともに、若者文化を核としたまちづくりにも取り組んでいきます。) 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な文化芸術に触れられる機会の提供) 若者文化を核としたまちづくり) 若い芸術家の支援と発表の場の提供			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)	目標値		5市町	9市町	13市町	17市町	21市町	21市町(R2)	
		実績値	0市町(H26)	9市町	13市町	14市町	17市町		進捗状況	
達成率			180%	144%	107%	100%		順調		
長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において、離島地区や遠隔地を中心に実施している移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を8市町・計12回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催することにより、多くの県民が文化芸術を学び楽しんでいただく機会を17市町に提供することができた。 最終年度の目標達成に向け、計画的な事業の実施を図る。										

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績			達成率
				R元実績	R2計画	R元目標				R元実績				
1	取組項目	総合芸術祭費	(R元終了) S45-R元	7,030	7,030	1,594	県展実行委員会	長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県下各地で開催した。	活動指標	展覧会の回数(回)	6	5	83%	事業の成果 ・芸術鑑賞・参加機会を創出し、美術活動を普及促進することにより、文化芸術振興が図られた。協賛企業の増加や県展への親近感を醸成するため、「作品貸出事業」に取り組んだ。出品数は増加したが、観覧者数は目標に達しなかった。 事業群の目標(指標達成)への寄与・鑑賞機会の少ない離島(五島市)、半島(西海市)地域で高水準の美術の鑑賞機会を提供した。
				7,669	7,669	1,595					5	5	100%	
		文化振興課		根拠法令	社会教育法	成果指標	県展の観覧者数(人)	17,000	15,221	89%				
								16,000	14,699	91%				
2	取組項目	文化団体助成費	(R元終了) S53-R元	13,715	13,618	3,986	長崎県文化団体協議会	県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行った。	活動指標	主催事業(自主事業)実施件数(件)	10	21	210%	事業の成果 ・事業実施件数は目標件数を上回ったが、近年、イベントが小規模化する傾向があり、参加者数は目標には達しなかった。 事業群の目標(指標達成)への寄与・様々な文化芸術分野や地域において、県民のニーズに応じた文化芸術活動の実施を支援することにより、県民文化の向上を図ることができた。
				12,505	12,410	3,987					15	18	120%	
		文化振興課		根拠法令		成果指標	主催事業(自主事業)参加者数(人)	14,228	13,451	94%				
								13,653	11,490	84%				

3	取組項目	文化芸術ながさきステップアップ事業費	(R2新規) R2-				県展実行委員会 長崎県文化団体協議会	長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県下各地で開催する。 県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行う。	活動指標	展覧会の回数(回)					
		文化振興課		21,317	17,735	5,582	根拠法令		社会教育法	5					
4	取組項目	長崎県美術館運営事業費 長崎歴史文化博物館運営事業費(移動展等)	H17-R2				県民	長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館の移動展覧会やテレビ会議システムを活用した遠隔授業、出張授業、ワークショップ事業等を県内各地で開催し、優れた芸術・文化に触れる機会を提供した。	活動指標						事業の成果 ・離島地区や遠隔地を中心に移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を8市町・計12回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催し、多くの県民に文化芸術を学び楽しんでいただく機会を提供することができた。 ・事業群の目標(指標達成)への寄与・移動展や遠隔授業等の実施市町数の増加に寄与した。
		文化振興課		2,814	0	800			2,747	0	800	成果指標	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)(市町)	13	
5	取組項目	「描いてみんね!長崎」事業費	R元-3				出版社・作家	首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込み、マンガ、小説、脚本などの分野で作品化を図る手法の確立を目指すとともに、放送局などより幅広い人的ネットワークの構築に努めた。	活動指標	創作を支援した出版関係者・作家数(人)	5	4	80%		事業の成果 ・出版社や作家を本県への取材旅行に4回招待し、本県を舞台としたマンガ、小説創作支援を行ったことにより、3件の作品化が実現したが、新型コロナウイルスの影響で目標を達成できなかった。 ・事業群の目標(指標達成)への寄与・出版社や作家へ継続的に他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込みを行った。
		文化振興課		1,636	1,636	2,401			2,429	1,509	2,393	根拠法令	長崎県を舞台にした作品数(本)	4	
6	取組項目	文化芸術による地域ブランディング事業費	H30-R2				地域実行委員会	文化芸術による地域づくりの推進と人材の育成を図るため、東京藝術大学、地元大学等と連携し、離島地域で「長崎しまの芸術祭」を開催するとともに、全県域における若者を対象としたワークショップ等の取組により「ながさき愛」を高め、交流人口の拡大・人口定着を図った。	活動指標	イベント実施回数(回)	11	13	118%		事業の成果 ・各地に地域実行委員会を組織し、文化芸術をマネジメントできる人材育成と体制づくりが図られた。参加人数については、新型コロナウイルスの影響で目標が達成できなかった。 ・事業群の目標(指標達成)への寄与・地域が目指す様々な分野で、若い芸術家にワークショップ受講と成果発表の機会を提供することができた。
		文化振興課		20,733	8,507	7,972			23,200	13,332	7,973	根拠法令	参加人数(人)	10,500	
7	取組項目	ながさきオンライン文化祭事業費	(R2補正) R2				県民	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動自粛を余儀なくされた県内の文化芸術団体やフリーランス等の円滑な事業再開を支援するとともに、開催中止等で文化芸術活動における発表の場が減少している子ども達に、幅広く文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供する。	活動指標	イベント実施部門(部門)					
		文化振興課		9,028	0	2,393			根拠法令	参加人数(人)	3				
									成果指標		300				

3.実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

県内のどこにおいても音楽や美術などの良質な文化芸術に触れられる機会の提供	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、県展入賞作品と地元作家の入選作品を展示する県展移動展や長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において実施する移動展や遠隔授業等により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。県展については、令和元年度は、県展への親近感を醸成する「オークション事業」や、協賛企業を増やすため、会場内に協賛会員等PRコーナーを設置する「協賛会員PR事業」、協賛企業の増加や県展への親近感を醸成するための「入賞・入選作品貸出事業」に取り組んだが、全体の出品点数は1%増、観覧者数は4%減、協賛企業数は9%減となった。 文化団体助成費では、自主事業である新人演奏会出演者による出張公演の開催地を離島地域にも広げることにより、県内どこにおいても良質な芸術に触れられる機会の確保に努めたが、人口減少に伴う地域文化活動の縮小等により参加者数が減少傾向にある。 地域住民に事業に参画していただく「長崎しまの芸術祭」を実施することにより、良質な芸術に触れられる機会の提供が図られた。 <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、「新しい生活様式」や国のガイドラインに沿った文化芸術活動の実施が求められている。</p>	<p>課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 県展、県選抜作家展の同時開催など、県展の段階的な再編を検討し、出展数、観覧者数の増加につながるような「総合美術展」としてステップアップしていく。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、イベント等の集客や実施方法に大きな影響が出ることが想定されるため、オンラインなどを活用した新たな手法を取り入れていくことを検討する。また、出品数や観覧者数、協賛企業数の増加につながる運営方法の改善について、県展実行委員会と協議を進める。 地域文化活動の活性化を図るため、新しい分野の団体の掘り起こしが必要である。 イベント等の開催において、集客や実施内容に大きな影響が出ることが想定されるため、「新しい生活様式」や国のガイドラインに沿った新たな手法の構築を検討していく。
若者文化を核としたまちづくり	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、若者が主体的に活躍できる新たな地域ネットワークづくりを推進することが重要である。令和元年度からはマンガ家のほか、小説家、脚本家等へも対象を広げ、本県をテーマとしたマンガや小説等の作品化を推進することにより、本県の魅力発信に努めるとともに、出版社等との幅広い人的ネットワークができた。今後は、そのネットワークを更に強化していく。 	<p>課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源のさらなる売り込みを行い、マンガ、小説、脚本などの分野で作品化を図る手法の確立を目指すとともに、引き続き、放送局など、より幅広い人的ネットワークの構築を図る。また、出版社等との関係強化のため、創作支援に留まらない手法を構築していく必要があるため、タイアップや、県媒体を活用した作品の広報PR等を検討する。
若い芸術家の支援と発表の場の提供	
<p>実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しまと若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業」の取組の中で、東京藝術大学(令和元年度連権協定締結)の講師と五島市の中高生、地域住民を結びつけた音楽セミナーや、全国的に著名な講師陣を招聘し、県内外の中高生を対象とした雲仙マーチングクリニック、宇久島での吹奏楽セミナー等を開催するとともに、成果発表コンサートを実施することにより、若い芸術家の受講機会と発表の場を提供した。佐世保市では、若者文化に着目したダンスイベントを開催し、県内外から多くの若者が参加した。本事業を総合芸術祭として一体的に打ち出し、広く情報発信に努めるとともに、地域の自立を促すため、国庫や協賛金など財源の多様化が求められている。 また、県展では「ふれあいワークショップ」を開催し、小中学生に体験学習の場を提供し、作品を美術館に展示した。洋画、日本画、写真、彫刻の4部門で開催し、若い芸術家の受講機会と発表の場を提供した。 <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「新しい生活様式」や国のガイドラインに沿った文化芸術活動の実施が求められている。</p>	<p>課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の振興は、地域の人々のアイデンティティ再認識に寄与するとともに、郷土愛を高め、若者の人口定着を図る手法として効果的であることから、地域実行体制の強化・人材育成を図っていく。 イベント等の開催において、集客や実施内容に大きな影響が出ることが想定されるため、「新しい生活様式」や国のガイドラインに対応した開催手法についても検討していく。

4.令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
			(令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
3	取組項目	文化芸術ながさきステップアップ事業費 文化振興課	R2新規(総合芸術祭費と文化団体助成費の統合事業) 県展、県選抜作家展の観覧者の減少や出品数の減少を止めるため、県展を段階的に再編し、総合美術展へステップアップを図る。 また、人口減少に伴う地域文化活動の縮小や文化芸術鑑賞機会の減少を止めるため、地域文化を支える文化団体の育成、ネットワークの強化を図る。		「県展」と「県選抜作家展」の同時開催など、観覧者にとって魅力ある「県内最大の総合美術展」へ再編することなどを検討する。また、県内の文化芸術団体に活躍の機会を提供することにより、地域コミュニティの活性化、若者人材の掘り起こし、ふるさと教育につなげ、地方創生に資するとともに、地域文化を磨き上げることに、文化芸術立県としてのレガシーを残す。	改善

4	取組項目 長崎県美術館運営事業費 長崎歴史文化博物館運営事業費 (移動展等)			県民への優れた芸術・文化に触れる機会の提供、また、未来を担う子供達へのふるさと教育の場の提供のため、離島地域や遠隔地を中心とした移動展や遠隔授業、出張事業等の実施に取り組む。	終了
	文化振興課				
5	取組項目 「描いてみんな！長崎」事業費	切れ目のない創作支援により出版社や作家等との強固なネットワーク作りを図るとともに、創作支援に止まらない取組として、創作された作品を活用した出版社とのタイアップ企画を実施する。		取材時には学芸員や地域ガイドによる充実した視察対応を行い、取材後は継続した情報提供により関係性を構築し、県広報媒体を活用したPR支援など作品化を図る手法の確立を目指すとともに、マンガに限らず、小説や脚本など他分野で幅広い人的ネットワークの構築に努める。	改善
	文化振興課				
6	文化芸術による地域ブランディング事業費	国庫の活用や協賛金の獲得以外にも、市町に人的、財政的負担を求めることにより、財源の多様化を図る。		文化芸術の振興は、地域の人々のアイデンティティ再認識に寄与するとともに、郷土愛を高め、若者の人口定着を図る手法として効果的であることから、東京藝術大学との連携強化を図り、そのノウハウ、人的ネットワーク等も活用し、地域実行体制の強化・人材育成を図る。 本事業は令和2年度で終了としているが、さらにインバウンドを含む交流人口の拡大、関係人口の創出を図るため、離島地域を中心に、海外からアーティストを招き、地元の資源を活用した文化芸術活動を実施する「しまの国際芸術祭」を開催する。 また、新たな生活様式に対応した開催手法についても検討していく。	終了
	取組項目 文化振興課				
7	ながさきオンライン文化祭事業費	R2補正		オンライン配信による文化祭を開催することにより、自粛期の本県芸術文化人材の雇用維持を図るとともに、文化団体のネットワーク強化や文化芸術人材の発掘など国民文化祭に向けた基盤作りを目指す。	終了
	文化振興課				

注：「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- 視点 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- 視点 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- 視点 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- 視点 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- 視点 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- 視点 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- 視点 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- 視点 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要があるか。
- 視点 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- その他の視点